

YAMANASHI

発行/山梨県PTA協議会 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目9-10 TEL.055-228-1342

発行人/会長 梶 謙一 編集/山梨県PTA協議会情報委員会 印刷/総合印刷 王文社

今こそつながろう 保護者の輪、地域の輪



平成23年度
山梨県PTA協議会
会長 梶 謙一

昨年度に続き、山梨県PTA協議会の会長を務めることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度山梨県内では276の学校PTAが活動を行っています。各単位PTAがそれぞれの学校や学区で活動されているように、山梨県PTA協議会では、山梨県の教育行政や教育機関等への要望・提言を行ったり、教育に関する様々な会議に参加し小中学校の保護者を代表する立場で意見や考えを発信しながら、子どもたちの教育環境の向上に努めています。また、各種研修会や講演会、情報紙の発行など広域的・公益的な組織だからこそ出来る活動を今年度も進めてまいります。

さて、昨今のPTA活動では自治会や地域の方々、地元の企業や商店などのご協力をいただき、「登下校時の交通安全」や「不審者対策」、「挨拶運動」など協働して子どもたちの健全育成に取り組む機会が多くなりました。多くの方々にかかわっていただき、子どもたちの育ちを見守っていただけることはとてもありがたいことです。このような地域との連携はこれまでも進められてきましたが、震災以降その重要性は更に増しています。

しかし、その反面、それぞれの家庭や地域によって与えられている環境や抱えている課題など多岐にわたっており、時には私たち大人も戸惑いさえ感じることがあります。

経済や政治に対する漠然とした不安や、耳を疑うような事件、何が正しくて何が間違っているかなど一概には決められない時代です。自由や個性が尊重されるあまり、古くから美德とされてきた価値観を見失い、世の中の基準となる目盛りは大きくずれ始めているようにさえ感じます。

このような時だからこそ、私たちPTAが果たすべき役割が大きく求められているのではないのでしょうか。物事の基準となる目盛りを子どもに合わせるのではなく、私たち自身が見識を高め、しっかりと判断基準を持つことが必要とされています。

PTA活動は子育てを通じた「社会活動」であり、「ボランティア活動」です。PTA活動を支えてくれる地域の方もその多くは私たちPTAの先輩です。人と人とのつながりや地域社会とのかかわり、地域活動の機会を通じて、学校・家庭・地域がより一層の連携を深め、地域の教育力を高めていきましょう。

東日本大震災義援金

被災地域に力をかそうと多くの善意が寄せられました。ありがとうございました。

山梨県PTA協議会 (9月14日現在)

140単Pから総額:5,726,974円が寄せられました。
この内、5,380,596円を5月17日に被災地に送金しました。
残金約34万円は現在継続している募金と合わせて送金いたします。

(社)日本PTA全国協議会 (7月15日現在)

総額2億1千万円余り

支援金第1次贈与(5月19日)

岩手県P・宮城県P・仙台市P・福島県Pに各1,000万円、青森県P・茨城県Pに各500万円贈りました。

被災地から県内に避難居住している児童生徒数は、9月12日現在109名います。
小学生83名、中学生26名です。身近なところでも支援しましょう。

第37回 母親研修会・子育て講演会

平成23年 11月19日(土) 12:30~16:30
会場 敷島総合文化会館(甲斐市)

講演会 12:50~14:25

演題「宇宙の中の地球、地球の中の私」
講師 牛山 俊男先生
(自然写真家・環境カウンセラー)

分散会 (母親研修会) 14:30~16:30

地域別に別れて話し合いを行います。

平成23年6月4日(土) 桃源文化ホール

県P定期総会を開催

県教育委員長 渡邊 努様はじめ、多数のご来賓を迎え開催されました。
柗会長より、スローガンや5つの活動方針について強い思いで取り組んでいく、との説明と報告があり、事業計画・予算が新役員とともに承認されました。

23年度スローガン

「願いはひとつ すこやかな成長」

— つながろう 両手ひろげて —

活動方針

- 1 子どもの健やかな成長を願い、親や家庭の果たすべき役割を支えるPTA活動を推進する。
2 会員相互の資質向上と結びつきを強め、新しい時代に即応できるPTA活動を推進する。
3 学校・家庭・地域社会の連携を深め、各単位PTAを支援する運動を推進する。
4 日本PTA・関プロ・県・都市・単位PTAと連携を緊密にしたPTA活動を推進する。
5 心豊かな青少年の育成を目指した教育諸団体と連携し、教育条件整備を推進する。

事業計画

- 1.山梨県PTA協議会の運営
2.教育相談・調査研究・情報収集事業
3.家庭・学校・地域社会教育に関する研修会や講演会活動
4.PTA活動(社会教育)に関する表彰事業
5.家庭・学校・地域教育・安全教育に関する広報・啓発活動
6.教育・行政・日本PTA等関係機関との連携政策提言事業



詳細はホームページをご覧ください http://www.nasi-pta.net

平成23年度県P理事役員

Table listing PT Association officers including Chairman (柗 謙一), Vice-Chairman (甲 府), and various committee members across different regions.

よろしくおねがいします!

常置委員長より一言

企画委員長

平山 裕海(日川小P)
「子どもたちの時間の使い方に関するアンケート調査」を実施します。

母親委員長

田中 利江(甲府北西中P)
はじめまして。私たちは県下14地区から集まる母親委員で活動しています。

総務委員長

植村 武彦(甲運小P)
県P理事会、新任会長研修の運営などを担当します。

情報委員長

鮫田 光一(中道南小P)
県Pの活動をPTA会員や地域に向けて発信するという重要な役割を担っております。

安全審査運営委員長

榛原 豊明(中道南小T)
児童・生徒・PTA全会員の事故傷害への見舞金を公平に支給するため、17名の委員により慎重な審議を重ねています。



北杜勢が最優秀を獲得!

山梨県PTA協議会 広報紙コンクール

最優秀 北杜市立高根東小学校PTA 「のぞみ」

テーマの設定や企画性に優れ、写真の構図や使い方 紙面のレイアウトも目を引く内容。丹念な取材による、見ごたえ、読みごたえのある紙面づくりが評価された。(審査委員長：山梨日新聞社 読者センター 中村 誠 評)

- 優秀 北杜市立高根北小学校PTA 「もみじ」
山梨市PTA連絡協議会 「山梨市P連だより」

- 奨励 身延町立久那土小学校PTA 「さんかく山」
北杜市立高根清里小学校PTA 「きよさと」
甲府市立南中学校PTA 「みなみ風」
中央市立玉穂中学校PTA 「陽だまり」
大月市立富浜中学校PTA 「木犀」



各郡市Pからの活動報告



甲府地区 中川智晴

23年度スローガン『育てよう!子どもたちの「夢」、そして生きる「力」』のもと、子どもたちが「夢」を持ち、そして夢を語り、それを「生きる力」としてもらいたい、という思いで活動しています。

主な活動は、予算要望アンケート・市P連活動アンケートの実施、全体研修会、各学校PTAとの情報交換会、「食」に関わる勉強会、新会長予定者オリエンテーション、年2回の「市P連だより」の発行などです。

中でも活動のメインとなる全体研修会は、12月17日(土)甲府市総合市民会館(山の都アリーナ)にて、親子で参加できるイベントを企画しています。



中巨摩地区 河西弘志

南アルプス市連合PTAでは、2011年11月26日(土)に開催される学習会、若竹ミュージカル「口はロボットの口」の公演に向け日々活動しております。

若竹ミュージカルは、東京学芸大学付属特別支援学校の卒業生とその家族、教員・支援者そして東京学芸大学管弦楽団を母体として発足した若竹ミュージカルオーケストラによって結成された音楽好きの人たちの集まりです。卒業後の生涯学習として、知的障害者本人と健常者がともに学びあひながら、総合芸術であるミュージカルを創り上げることを目的とした団体です。この公演をきっかけに、障害者と健常者がともに学び支えあう姿から、何かを掴める良い機会に成ればと思います。



峡北地区 新藤絵利

私たち韮崎市P連合会は、韮崎小、穂坂小、韮崎北東小、韮崎北西小、甘利小、韮崎西中、韮崎東中の7校で構成されております。年間行事としては教育県民大行動(義務振)北巨摩集会を中心に教育環境の整備を市に働きかけております。また、2年に1回の割合で教育講演会を行っています。昨年は講師に与良正男氏を迎え、「子どもたちの現状と大人のすべき役割」という講演していただき、研修を深めました。今後も韮崎市の教育を充実させるようPTAとして、積極的に活動していきたいと考えています。



北都留地区 中村裕一

「21世紀を担う子どもたちの健全育成をめざし、教育のあり方を共に考えよう」を合言葉に、大月市P連では、10月15日(土)午前9:00より大月市民会館大ホールにて「明日の大月市の教育を語る会」を開催致します。

PとTの協力で、「課題を率直に語り合い、教育への認識をたかめ地域の教育力向上を図る」。また、「教育条件の整備・充実、保護者負担の軽減等の強化を図る」を目的に、子どもたちに関わる自らの課題を明らかにして、今、保護者がなすべきことは何か、学校として、PTAとして何を行うべきか、また、地域として連携していくにはどうしたらよいか、この「語る会」が解決の一助になれば幸いです。

実行委員会一同、只今奮励努力しています。是非とも多くの方々にご来場をして頂きたいと考えています。



峡東地区 丸山 正

甲州市小中学校PTA連絡協議会は、塩山地区、勝沼地区、大和地区の小学校13校、中学校5校のPTAで組織され、PTA運営に関する諸問題の調査研究などの事業を進めています。

その中で特に重要な事業の1つとして、「教育振興に関する諸問題の調査、情報交換、陳情、請願」の事業があります。

これは、子どもたちの学力低下や体力低下が叫ばれているなかで、各学校における教育環境の諸問題を調査し、情報交換や内容の検討を行い、甲州市に対し、教育環境の整備推進を請願するものです。

この事業は、毎年実施されており、甲州市内の小中学校の設備や人員体制が充実され、子どもたちの健やかな成長に寄与しています。



峡南地区 河内浩幹

峡南PTAは、南巨摩郡、西八代郡両PTA協議会が合併し、平成21年に発足を致しました。各小中学校PTAの連絡協力により、児童生徒の健全育成と福祉の増進、子どもたちのすこやかな成長と一層の教育振興を願って、諸活動の推進を図って参りました。平成23年度も峡南義務教育振興会議、アフリカ飢餓救援活動、各町においては、「教育を語る会」、富士川流域クリーン活動の実施を計画しております。子どもたちにとって、より良い教育環境をつくって行けるよう、保護者、教職員、地域住民が一体となり、PTA活動をしていかなければと思っております。



南都留地区 中村 強

本市P内、吉田中学校ではPTA行事に毎年恒例の全校富士登山を行っています。学校が富士北麓地域に立地するので様々な条件に恵まれております。しかし開催にあたっては全校生徒数650人のマンモス校である為(同行登山・給水所の設置・トイレの設置・途中脱落者の救護体制)など多くのPTAの協力体制が必要となります。山登りには心身を共に鍛えられる大きな要素が沢山あり、自分の力だけで登る中、大自然との対話が出来、また大自然との戦い(克服)を肌で感じる事で自分の強さが認識でき、大きな自信に繋がります。登頂した際に心地よい爽快感・達成感を感じさせる事で、学校生活(勉強・部活動)に繋がってもらいたいと考えています。

ひろしま大会が開催されました。

第59回 日本PTA全国研究大会 ひろしま大会 8月26日(金)~27日(土)

1日目:分科会

第5分科会 大林宣彦氏の基調講演を聴いて

坂のまち尾道で開催された「尾道三部作」で有名な映画作家大林宣彦氏の基調講演では、「地域」における大人の役割、魅力ある地域づくりについて氏の熱い想いが語られ、太平洋戦争や東日本大震災の復興から我々日本人が得た忍耐、精神力、知恵、勇気をもって、今の大人がもっともっと子どもたちのために「ふるさと」を考えることが、大切だと訴えました。そして、子どもたちの未来は正に今の大人の姿であり、これからの日本、日本人、特に子どもたちがどうやって生きていくのか?ふるさと尾道や日本各地で経験、体験されたことをもとに、説得力ある感情のこもったお話がとても印象に残りました。

(小林奈都夫・後屋敷小P)

2日目:全体会

乙武洋匡氏の記念講演を聴いて

みんながって、それでいいんだ、だれでもできることとできないことがある。だから、自分ができることをしよう、自身のハンディーキャップを後ろ向きではなく前向きに受け入れ、自分ができることに積極的に取り組んできた、という考えや思いがビシビシ伝わってきました。その情熱と行動力に心から感動しました。

(丸山 正・勝沼小P)



広島と言えば原爆、原爆と言えば放射能、広島町並みを見ても、それを思わせるようには、感じませんでした。戦後焼け野原の場所を死にもの狂いで建て直し、変貌させた努力には脱帽しました。福島県も今まさに、放射能との格闘の中で、素早い災害復旧と除染作業が終わり安全な町になることを、心より祈る気持ちにさせられました。(河西弘志・白根源小P)

親子安全会・扶助会だより



山梨県PTA親子安全会
山梨県PTA扶助会

会長 天野 一

皆さん、PTA親子安全会をご存知ですか。この会は、昭和46年8月に開催された日本PTA全国研究大会で「相互扶助の見舞金制度を実施したらどうか」との提案があり、「各都道府県が自主的に実施する」ことを決議しました。

県内でも昭和50年4月1日互助の共済制度方式を採用し、県内13万人の会員が子どもたちの健やかな成長を願い、会員相互の助け合い精神の下に山梨県PTA

親子安全会が発足されました。また、平成20年度からは保険業法の改正に伴い親子安全会は社会通念的見舞金制度(10万円以下)に変更、さらに親子安全会の積立基金を基にして、会員である保護者が死亡した場合に、残された児童生徒の厚生援助を主な目的に山梨県PTA扶助会が設立されました。

設立から36年、親子安全会・扶助会は設立当初の趣旨と目的を尊重しながら、時代と共に変化を続け、更によりよい組織へと変貌を遂げております。

今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成23年4月1日以降に発生した事故については次のように見舞金が支払われます

事由	見舞金区分		見舞金額	
死亡見舞金	児童・生徒	日本スポーツ振興センター適用外	10万円	
	保護者・教職員	疾病・傷害を問わず、いかなる場合も対象となります。	10万円	
傷害見舞金 <small>【整(接)骨院での治療は5割給付】</small>	児童・生徒	日本スポーツ振興センター適用外	入院	1,500円/1日
			通院	1,000円/1回
	保護者	1.PTA活動中 2.児童・生徒を対象とした社会的行事参加中	入院	3,000円/1日
			通院	1,500円/1回
	教職員	1.PTA活動中 2.児童・生徒を対象とした社会的行事参加中 3.教職員勤務中	入院	3,000円/1日
			通院	1,500円/1回
後遺障害見舞金	児童・生徒・保護者・教職員	後遺障害見舞金支払区分によって査定された金額で、入・通院傷害見舞金と合算して10万円以内		

詳しくは県P事務局へお電話ください。

教育相談事業 教育四者(PTA・校長会・教頭会・教育会)による教育相談室

山梨県PTA協議会、校長会、教頭会、教育会の教育四団体は、教育相談室を開設しています。相談員は学校現場を退職した教員のOBで、教育現場で最も活躍し、児童生徒とのふれあひも多かった先生方です。また、長年相談活動を手がけており、県教育委員会から教育相談員として任命もされています。子育てなどに関わる悩み事、心配事がありましたら気軽にご活用ください。

相談会場等案内

相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	第2・4水	雨宮 正文
笛吹	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438	055-265-2117	第1・3月	渡辺 明文
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡富士川町鯉沢795-4	0556-22-1500	第1・3水	土橋 士郎
中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	055-282-5070	毎週金曜	辻 高廣
北巨摩	北巨摩教育会館	韮崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	第1・3月	上野 幸治
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随 時	三浦親太郎
北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	0554-22-1811	随 時	奈良 篤
全 県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-9-10	055-228-1342	随 時	早川 憲三 武井 文雄

編集後記

今年度、初めての新聞発行でしたが、情報委員会では活発な意見が出され、充実した会議となりました。各郡市Pではそれぞれ特色ある活動をされていますので、広く発信したいと思い、郡市P代表の副会長のみなさまから寄稿いただき、今回新たに、掲載させていただきました。

また、ホームページも随時更新してまいりますので、是非御覧ください。この新聞がPTA活動のより一層の活性化につながることを確信し作成いたしました。

情報委員長 鮫田 光 一